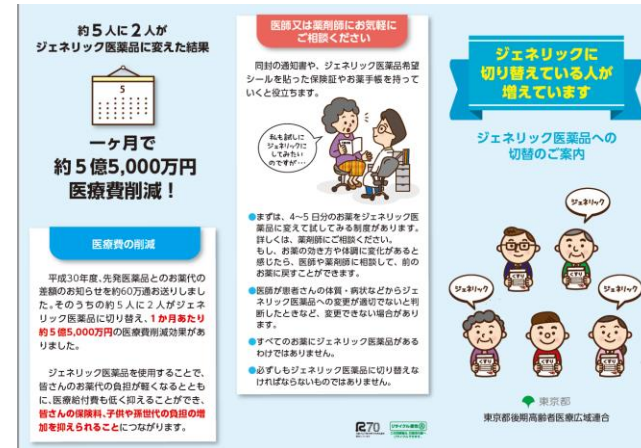


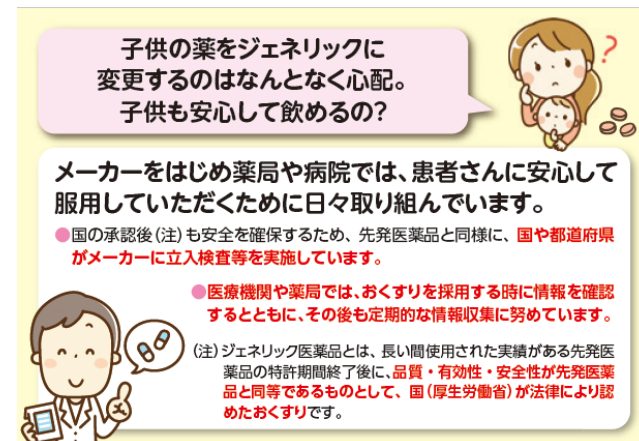
1 普及啓発リーフレットのホームページ掲載【継続】

東京都ホームページに以下のリーフレットデータ（PDF）を掲載し、保険者等がホームページやSNSで活用可能なものとしている。

①後期高齢者向けリーフレット【令和2年度作成】



②子育て世代向けリーフレット【令和3年度作成】



⇒ 子育てひろば職員研修においても、本リーフレットを活用した周知を実施（3月）

2 医療関係者向け講演会の開催【継続】

◆概要

後発医薬品の安心使用促進に向け、医療関係者の理解促進を図るため、動画配信形式で医療関係者向けに講演会を実施

◆講演会名

東京都後発医薬品安心使用促進 医療関係者向け講演会

◆対象者

都内の医師、歯科医師、薬剤師及び医療保険者等

◆動画配信期間

令和6年2月1日（木）から3月7日（木）まで

◆講演内容

○「医療用医薬品の安定確保について」

厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課
医薬品等確保対策専門官 浅野 智央 氏

○「かかりつけ医からみた地域フォーミュリ」

近藤医院 院長
一般社団法人日本フォーミュリ学会副理事長 近藤 太郎 氏

◆申込者数 284名

（内訳 薬剤師 236名、医師 11 名、他 37名）

◆視聴者数 162名

（内訳 薬剤師 96名、医師 4名、他 24名）

オンライン講演会 / 受講料無料

東京都保健医療局

令和
5年度

東京都後発医薬品安心使用促進 医療関係者向け講演会

動画配信期間

令和6年 2月1日(木) 12:00～
令和6年 3月7日(木)18:00

東京都は、令和元年度に東京都後発医薬品安心使用促進協議会を設置し、都民が安心して後発医薬品を使用できる環境整備に向けた取組を進めています。この度、医療関係者が後発医薬品の使用促進に向け連携して取り組む際の一助となるよう、講演会を開催いたします。是非お申し込みください。

講演内容

「医療用医薬品の安定確保について」

厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課
医薬品等確保対策専門官

浅野 智央氏

「かかりつけ医からみた地域フォーミュリ」

近藤医院 院長
一般社団法人日本フォーミュリ学会副理事長

近藤 太郎氏



対象者 都内の医師、歯科医師、薬剤師及び医療保険者等

申込期限 令和6年1月22日(月) 12:00 まで

申込方法 下記フォームよりお申込みください。
<https://forms.gle/x1gUFRz9pDY4pmqc6>



▶ お申込フォームにて事前質問を受け付けております。
申込み後に質問がある方は、下記運営事務局までメールにてご質問ください。
※全ての質問には回答できないことがあります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

運営事務局（株式会社アカンパニーテクノロジーズ） generic@e-webinar.net

(参考)「医療関係者向け講演会」の実施状況

【令和2年度】

- ＜講演内容＞ ●後発医薬品の安心使用促進に向けて～医師からの提言～（公益社団法人東京都医師会理事 鳥居 明 氏）
●後発医薬品選択の指針について（公益社団法人東京都薬剤師会常務理事 根本 陽充 氏）
●後発医薬品安心使用促進に向けた東京都の取組について（東京都福祉保健局保健政策部保険財政担当課長）
- ＜申込者数＞ 46名（内訳 薬剤師15名、区市町村職員15名、医師10名、その他6名）
- ＜視聴者数＞ 29名（内訳 薬剤師10名、区市町村職員 9名、医師 4名、その他6名）

【令和3年度】

- ＜講演内容＞ ●後発医薬品の使用促進について（厚生労働省医政局経済課医療用物資等確保対策推進室室長補佐）
●後発医薬品選択の指針について（公益社団法人東京都薬剤師会常務理事 根本 陽充 氏）
●All Tokyo で目指すジェネリック医薬品使用割合80%に向けて～協会けんぽ東京支部の取り組み～
（全国健康保険協会東京支部支部長 元田 勝人 氏）
- ＜申込者数＞ 240名（内訳 薬剤師106名、医療保険者(区市町村以外)80名、区市町村職員19名、医師6名、他29名）
- ＜視聴者数＞ 156名（内訳 薬剤師 73名、医療保険者(区市町村以外)49名、区市町村職員11名、医師2名、他21名）

【令和4年度】

- ＜講演内容＞ ●後発医薬品の基礎知識を再確認しよう-規制、品質、ビジネス、海外の状況など-
（東京大学大学院薬学系研究科 准教授 小野 俊介 氏）
●後発医薬品安心使用促進の取り組みと課題-病院薬剤師の視点-
（一般社団法人東京都病院薬剤師会 理事 金内 幸子 氏）
●『ジェネリック医薬品に対する信頼の回復』に向けた日本ジェネリック製薬協会の取り組みについて
（日本ジェネリック製薬協会 広報委員会 委員長 田中 俊幸 氏）
- ＜申込者数＞ 270名（内訳 薬剤師158名、医療保険者(区市町村以外)46名、他66名）
- ＜視聴者数＞ 184名（内訳 薬剤師104名、医療保険者(区市町村以外)31名、他49名）

【令和5年度】

- ＜講演内容＞ ●医療用医薬品の安定確保について（厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課 医薬品等確保対策専門官）
●かかりつけ医から見た地域フォーミュリ（近藤医院 院長 一般社団法人日本フォーミュリ学会副理事長 近藤 太郎 氏）
- ＜申込者数＞ 284名（内訳 薬剤師236名、医師11名、他37名）
- ＜視聴者数＞ 162名（内訳 薬剤師 96名、医師 4名、他24名）

3 地域別ジェネリックカルテの作成

◆地域別ジェネリックカルテとは

区市町村ごとの後発医薬品の使用割合について、レセプトデータをもとに、医療機関の状況（院内処方・院外処方）、薬局の状況（一般名処方を後発医薬品で調剤した使用割合）、患者の状況（患者の都合により後発医薬品を調剤しなかった割合）など、体系的に整理し、使用割合への影響度等分析を行えるようにしたもの。

保険者名 (※1)	ジェネリック医薬品 使用割合（全体） (※2、3、4、5)			【患者の視点】				【薬局の視点】				【医療機関の視点】																											
				被保険者ジェネ リック 医薬品拒否割合 (※6、7)		公費対象者ジェ ネリック医薬品 使用割合 (※8)		調剤ジェネリック 医薬品使用割合 (※9)		一般名処方限定 調剤ジェネリック 医薬品使用割合 (※10)		院外処方率 (※11)		院内処方										院外処方															
														院内処方ジェネリック医薬品使用割合										【参考】 院内処方率 (※11)		院外処方ジェネリック医薬品使用割合										【参考】一般名処方率（※7、12）			
														入院					外来 診療所							（調剤ジェネ リック医薬品使 用割合再掲）					病院		診療所						
標準得点 (※13)	指標 数値	東京都平均 との差	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値	標準得点 (※13)	指標 数値					
A	0.6	78.4	2.1	-1.3	21.0	-0.8	62.3	-1.5	74.7	-1.7	81.6	0.9	83.9	-1.0	61.1	0.4	83.1	-1.0	56.9	-1.3	58.3	0.9	16.1	-1.5	74.7	-1.4	74.5	-1.5	74.8	-1.3	48.7	-0.5	32.4	-1.6	51.5				
B	0.9	79.4	3.1	1.9	10.3	-0.5	63.7	0.4	80.4	1.4	90.2	0.8	83.2	1.8	74.5	-0.2	81.6	0.1	64.9	2.2	75.9	0.8	16.8	0.4	80.4	-0.8	76.1	0.8	81.8	-0.7	50.8	-1.1	28.7	-0.6	55.2				
C	1.9	83.1	6.8	1.8	10.5	2.0	73.6	2.0	85.2	1.8	91.2	0.7	83.0	1.3	72.4	1.4	86.1	1.1	72.0	1.1	70.2	0.7	17.0	2.0	85.2	2.6	85.8	1.7	84.9	0.7	56.3	-0.7	31.5	1.2	61.7				
D	0.1	76.6	0.3	-1.2	20.8	0.5	67.4	0.4	80.3	-0.1	85.9	-3.0	57.7	1.1	71.5	0.2	82.6	0.9	70.6	1.2	71.0	-3.0	42.3	0.4	80.3	0.8	80.8	0.2	80.0	1.9	60.8	2.9	57.3	1.4	62.5				

（参考）ジェネリックカルテを用いた現状分析例

・一般名処方された調剤レセプトのうち、患者の都合により後発医薬品を調剤しなかったレセプトの割合は減少している。（都全体）

令和2年9月時点 24.94% ⇒ 令和6年3月時点 21.52% ▲3.42ポイント

◆使用データ

区市町村国民健康保険（以下「区市町村国保」という）及び後期高齢者医療広域連合の医科、DPC、調剤レセプト

◆データの提供状況

sucoyacaシステムにより、月次データを区市町村国保及び後期高齢者医療広域連合へ提供

◆主な活用方法

- 各保険者は、地域の使用割合の状況を把握し、医師会、薬剤師会等と情報共有するなど地域の関係機関と連携した取組を推進
- 都は、定期的に地域ごとの使用割合の変化や区市町村の取組を把握・共有し、各保険者が地域の関係機関と連携した取組を推進できるよう支援

◆区市町村国保での活用状況（東京都「後発医薬品の自己負担差額通知及び希望カード等の取組状況調査」より）

- 普及啓発の参考、薬剤師会への情報提供に使用、運営協議会の資料 等